令和５年度　法友倶楽部　法曹交流委員会・研修委員会（第３回）議事録

文責：竹田　仁

日　　時：　令和５年７月２６日（水）１２時００分～１３時１０分

開催方法：　リアルとＺｏｏｍを併用

出 席 者：　本元宏和，北野陽子，山田敬子，土居正人，中塚雄太，中原明日香，入江祥大，菱田優，竹田仁（順不同、敬称略）

【審議事項】

第１　２つめの研修について

２つめの研修として，ＥＡＰについての研修が候補として挙げられた。ＥＡＰとは，企業の従業員に対する福利厚生として，職場外のプライベートな悩み等について，弁護士が法務カウンセリングを行うことであり，ＥＡＰのノウハウや，ＥＡＰを通じての顧問獲得について，弁護士ＥＡＰ協会に研修を実施してもらうというものであった。

２つめの研修の候補として，検討を進めることになった。

第２　ＮＰＯコラボ企画について

　　　中塚委員より，特定非営利活動法人遺言・相続・財産管理支援センターとのコラボ企画について打診があった。内容としては，信託をやったことがない弁護士をターゲットとして，信託に詳しい講師を招き，研修を実施するというものであった。

講師とのセッティング等については，ＮＰＯが行うとのことで，委員会には，集客面をお願いしたいとのことであった。

コラボ企画を実施することについては，委員から賛成が得られた。

また，委員から，研修として実施するのであれば，単位認定ができると良いのではないかとの意見が出た。

ただ，単位認定のためには，出席者の管理や出席者を制限しない等の要件があるため，まずは単位認定の要件を確認することとなった。

また，他会派にも研修を解放することとなるため，ＮＰＯでも持ち帰って検討していただくこととなった。

第３　裁判のＩＴ化に関する研修について

　　　活動方針において，裁判のＩＴ化への対応が掲げられていたことから，ＩＴ化に関する研修も必要ではないかとの意見が出た。

　　　候補としては，ミンツ経験者の座談会，裁判官との座談会などの意見が出た。また，ＩＴ化を進めているのは，日弁連であるため，日弁連でＩＴ化に関わっている弁護士を探すのが有益ではないかとの意見が出た。

第４　諸橋弁護士の研修について

　　　日程調整を進めることとなった。１０月から１１月頃を目途に，実施できるよう調整していくこととなった。

第５　法曹交流について

　　　法曹交流として，事前修習を実施し，法友倶楽部との接点を作っていくことが提案された。

　　　また，本年度は小規模で実施して様子見し，次年度以降から拡大していくのが良いのではないかとの意見が出た。

　　　その他，ＯＪＴについて，新人研修未履修者への声掛けや，ＯＪＴの案内方法について検討すべきとの意見が出た。

第６　次回委員会開催予定

　　　令和５年８月２４日（木）１２時～１３時

　　　以　上